

音楽学習指導教材出版と印刷事業を展開する株式会社日研

幼児が無理なく音楽に親しむことができ、自然と音楽性を高められる音楽の総合基礎学習教材を出版する「くおん出版事業」と商品パンフレットや冊子などを印刷する「印刷事業」を手がける株式会社日研。

同社は1953年、相木一雄氏が大阪の鶴橋で日研印刷所として創業したのが始まりだ。事業拡大により1966年に大阪市東成区への移転を経て、さらに1978年に現在の東大阪市高井田中へ工場を移転。1992年に社名を株式会社日研と改名した同時期に縁があり、くおん出版の商権を取得した。

はじめてのピアノも簡単に弾けるピアノ教本が好評

「くおん出版」ではピアノ教室で使われる読譜やドリルの出版を始め、月謝袋や5線紙、出席カード等の販売も行っている。商品は楽器店にも並んでいる。

情操教育の一環として、音楽教育を幼児期から始める家庭も増えているが、幼い子どもにとって難しいとされる読譜をやさしく理解できるよう編集されたピアノ教本「かんたんひけるはじめてのピアノ ドレミランド」は同社の人気シリーズだ。初めてピアノを習う子どもに、音の高低や長短を理解させ、自然に音符になじめるよう歌や読譜、ハーモニーやリズムなどの総合的な基礎がまとめられている。

また、「おんぶのドリル ルン・ルン」はピアノの先生が数あるドリルの中から指導しやすいように導入編、基礎編、発展編と自然に導けるシリーズになっている。幼児版はえんぴつのもてない幼児でもシールを使って、無理なく記譜（楽典）になじめ、音楽の基礎が学習できるように工夫されている。ピアノ教室の先生からの評判もよく、新しい生徒が入会すると申込がある。



子どもたちの豊かな感性を磨く音楽学習指導用品も充実

教本のほかにも、楽譜のしくみと鍵盤のつながりを視覚的に理解できる「学習鍵盤」や遊びの中で自然に標語や記号が学べる「おんがくかるた」など、音楽の基礎を理解しやすい教材も充実している。

そのなかでも五カ国語音名が楽しみながら学べるカードの「おんぶカード」は、2013年から文部科学省の依頼を受け、特別支援学校で音楽の教材として使われている。このカードを使ってゲームを楽しみながら音名や音の高さを理解することができるようになる。

代表取締役 吉川秀雄氏は「子どもたちが楽しく、わかりやすくをモットーに、教える方にとっても指導しやすい普遍的な音楽学習教材や用品の出版が事業のひとつの軸となっています。」と語る。

印刷・加工・配送までワンストップの印刷事業

同社のもうひとつの軸である印刷事業は印刷から加工、配送までを手がけるワンストップが特徴だ。「もともとは印刷のみを行っていましたが、配送サービスや製本加工の設備を設置するなど、お客様のご要望にお応えするうちにワンストップで行うようになりました。営業スタイルも以前は直接クライアント様へ営業するスタイルでしたが、現在は代理店様との取引のみをしています。直接営業しないということできざまな代理店様からお取引が増えました。また、大口の取引先ができてしまうとどうしても売上を頼ってしまいますが、そうならないように取引のウエイトが上がるとうほかの取引先の可能性を伸ばすようにしています。そうすることでパブル崩壊後の厳しい中でも生き残って来られたと思います。自分自身も取引先や仕入れ先とはオープンな関係性でいたいと思っています。特定の取引先の売上に頼りすぎで、その取引先に思っていることが言えなくなるのは嫌ですし、人としてフィフティフィフティなお付き合いをしていきたいと思っています。」と吉川氏。

組織を確立し、風通しのよい社風へ改革

吉川氏は2012年に三代目の代表取締役に就任。1984年に関連事業の有限会社プロセス日研に中途採用で入社後、製版部門を担当。工務や同

社の営業を経て現在に至る。「長く続けてこられたのは上

司に恵まれたおかげだと思っています。私は思ったことを何でも口に出すタイプ。もっと仕事の効率をよくするためにこうしたい、将来この会社をどうしていきたいなど、いろんな想いを上司がきちんと聞いてくれたんです。そして、客観的に意見を言う方だったのもよかったと思います。この会社が自分の居場所だと感じる事ができました。」

しかし、以前の同社では自分の思いで動く人も多く、方針が正確に伝わっていないこともあったという。「私が代表取締役に就任後は組織の確立を行いました。一般的に社員が30名規模の会社は社長に気に入られたら仕事やりやすくなるという風潮になりやすいのですが、上司を飛び越して社長の私に話を通すのではなく、上司を尊重してきちんと筋を通すことを徹底し、透明性を上げました。そして、しっかりとコミュニケーションをとって、正確に方針を伝えて決めたことを確実に実践できるようにしていきました。また、私は感情を仕事に出す必要はないと思っていますので、部下にミスがあったとしても怒りません。失敗するつもりで失敗する人はいませんから。私がそうすることで、いつの間にか幹部も怒らなくなってしまいました。仕事は人間力を無限大に広げる修行の場だと思います。自分が生きていくための勉強を、お金をもらっているのですから、ありがたいです。仕事を通じていろんな事にトライすることが楽しいですね。」



次期社長は社員から登用 社内のモチベーションもアップ

吉川氏にとって社員は家族と同じ。「社員の方のことが大切なので、間違ったことは教えられないと思っています。ちょっとでもいい方向へ導きたいからこそ、質問されたときに答えられるように勉強は欠かせません。」

また、「次期社長は社員から出す」と公言しているため、社員のモチベーションも高い。「私が入社して数年目の頃、元上司が『おまえを社長にするのが私の夢』と言ってくださったんです。その方が社長になられてはと伝えたのですが、『会長と年齢が3つ違いの私が社長になる必要はない。次の世代を育てるのが私の役目。』とおっしゃって、今は病気で亡くなりましたが、その方の想いに感謝しています。私自身がしてもらったように、次の世代へ譲れる会社にしていかなければならないと思っていますし、社員が思うことを発信できる風通しのよい環境作りが使命だと思っています。社員全員が『みんなの会社』という意識を高くもち、若い人たちが生涯働ける会社にしていきたいと思っています。」

株式会社日研

代表取締役 吉川 秀雄

〒577-0065
大阪府東大阪市高井田中3丁目8番5号

TEL : 06(6783)6338
FAX: 06(6782)3978
http://nikken-p.com



【事業概要】商業印刷事業部(各種商業美術印刷・印刷関連製品)
くおん出版事業部(音楽関連出版物の企画・制作・出版)